

平成29年度 一志病院長マネジメントシート(最終実績)

病院名	一志病院									
ビジョン	安心してこの地域で生活し続けられる医療を提供し、全国の医療過疎を解決するモデルになります。									
経営方針	あらゆるニーズに対応するプライマリ・ケアを実践します。プライマリ・ケアを担う人材を育成します。プライマリ・ケアに関するエビデンスを創出します。県民の皆さんが信頼し、自慢できる病院をめざします。職員の意欲と能力の向上に努めます。継続的な医療の提供のために経営の健全化に取り組みます。									
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標	H28 実績値	H29 目標値	H29 実績値	アクションプラン	実績評価	次年度への課題
顧客の 視点	<p>全国的医療過疎を解決する病院のモデル</p> <p>プライマリ・ケアの実践</p> <p>県民の皆さんが信頼し、自慢できる病院</p> <p>県内への医師等の定着</p>	プライマリ・ケアの実践 (全人的な医療サービスの提供)	かかりつけ患者の増加	1日平均外来患者数	85.1人/日	88.0人/日	79.1人/日	・総合診療医を中心とした外来診療体制の充実を図る。 ・予防医療やリハビリテーション、健康相談などを含む全人的な医療サービスを安定的に提供する。	・医師派遣を行う津市家庭医療クリニックが平成29年4月に開院した影響もあり、訪問診療、訪問看護等の在宅療養支援の充実などに努めたものの目標を達成することができなかった。	・引き続き、地域住民の幅広いニーズに対応し、プライマリ・ケアの実践により患者数の確保に取り組んでいく必要がある。
		入院患者の増加	1日平均入院患者数【病床利用率】	38.1人/日【82.8%】	37.0人/日【80.4%】	39.6人/日【86.0%】	・診療所、福祉施設、他の急性期病院等との連携に努め、紹介患者数の増加を図る。 ・病床状況、平均在院日数等情報を関係セクションで共有し、目標達成に向けた対策を講ずる。	・地域の入院ニーズの増に加え、地域の医療機関、保健・福祉機関との連携強化により、前年度を上回る入院患者を受け入れることができた。	・地域の関係機関との連携により、引き続き、地域の入院ニーズに対応していく必要がある。	
		県内医療過疎地域への貢献	医療過疎地域等への支援件数	6件	7件	6件	・へき地医療拠点病院として、へき地診療所等へ代診医の派遣を行う。	・目標値には届かなかったものの、へき地医療支援機構からの依頼にすべて応じて代診医派遣を行うとともに、津市の診療所への医師派遣等を行った。	・県内の医療過疎地域を支援できるよう、引き続き代診医派遣等に取り組んでいく必要がある。	
財務の 視点	<p>経営の健全化</p>	経営の健全化	収支の改善	経常収支比率	110.0%	104.2%	110.0%	・入院、外来患者数増や単価増により収益増を図る。 ・予防医療受診者の増により収益増を図る。 ・請求漏れ対策や減点対策等に取り組み、収益増を図る。	・入院収益等の医業収益が増加したことなどから、経常収支は5年連続で黒字を確保することができた。	・医療サービスの充実等により、入院・外来患者や住民健診等受診者の確保に努め、収益の増加につなげていくとともに、材料費や経費等の費用の削減を図り、引き続き、黒字を維持する必要がある。
		収益の確保	診療報酬検討会開催回数	12回	12回	12回	・材料費、経費等の削減に努めることにより費用減を図る。 ・収益増加、経費削減策の提案・実行に取り組む。	・診療報酬の請求漏れや減点に対する情報を共有し、その防止を図ることができた。 ・経営勉強会を開催するなど、職員一人ひとりのコスト意識の向上を図った。		
		内部プロセスの 視点	<p>地域医療</p> <p>包括的なケア 多職種連携 住民参画型</p> <p>総合診療医</p> <p>教育</p> <p>地域医療を担う人材の教育</p> <p>研究</p> <p>家庭医療、地域医療、医療教育に関する研究</p>	地域に最適な医療体制の構築	医師の充足	医師充足率	95.6%	100.0%	84.4%	・総合診療医の育成拠点としての研修環境を整備するなど勤務医にとって魅力のある病院づくりに取り組む。
看護師の充足	看護師充足率	100.0%		100.0%	100.0%	・育児・介護のための休暇等が取得しやすい勤務環境を整備するなど看護師にとって魅力のある病院づくりに取り組む。	・日本在宅医学会地域フォーラムやプライマリ・ケア研修会等での当院の取組の情報発信や、看護師が働きやすい職場環境づくりに取り組むことで目標を達成することができた。	・引き続き、看護師の確保・定着促進に取り組んでいく必要がある。		
関係機関・地域住民との連携強化	多職種連携による取組件数	20件		30件	32件	・地域ケア会議の定期開催により、保健・医療・福祉の連携を図る。 ・「顔の見える会」の活動や講演会等の開催を通じ、地域住民との連携を図る。 ・地域行事等へのボランティア参加を推奨し、地域貢献に努める。	・地域の保健・医療・福祉の多職種による課題検討会やシンポジウムの開催などを通じて、地域住民や関係者の意識向上や一体感の醸成を図った。	・地域において取り組んできた多職種が連携した活動を定着化させるとともに、地域住民の参画を引き続き、促進していく必要がある。		
内部プロセスの 視点	<p>地域医療</p> <p>包括的なケア 多職種連携 住民参画型</p> <p>総合診療医</p> <p>教育</p> <p>地域医療を担う人材の教育</p> <p>研究</p> <p>家庭医療、地域医療、医療教育に関する研究</p>	総合診療医を中心とした地域医療	在宅療養の充実	訪問診療、訪問看護等延べ患者数	4,195人	3,700人	4,493人	・関係医療機関、保健・福祉機関と連携し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導、訪問栄養指導の単価増・件数増等を図る。	・在宅医療ニーズの増に加え、保健・福祉機関等と連携するなど、前年度実績を上回るサービスを提供することができた。	・引き続き、在宅療養支援のニーズに応えていく必要がある。
		救急医療体制の確立	救急患者受入件数(救急車搬送患者を含む)	1,348件	1,000件	1,265件	・宿日直体制を維持し救急患者を受け入れる。 ・救急隊との合同勉強会や救急ホットラインの活用等により、引き続き、連携に努める。	・救急隊と医師をつなぐ「救急ホットライン」や、診療所・福祉施設と外来師長をつなぐ「ホットライン」を活用し、目標を達成することができた。	・引き続き、消防機関や診療所等との密接な連携を図るとともに、24時間365日の救急患者受入体制を維持する必要がある。	
		予防医療の実践	住民健診、人間ドック、がん検診受検者数	1,486人	1,400人	1,466人	・住民健診、人間ドック、がん検診をPRするとともに積極的に受け入れる。 ・健康教室等を開催し、健康管理に対する意識啓発を図る。	・健康教室等を定期的に開催し、地域住民の皆さんの健康管理に対する意識の向上を通じて、目標を上回る住民健診等を実施することができた。	・引き続き、健康教室や出前講演等を通じて予防医療を啓発するとともに、住民健診等を実施する体制を維持する必要がある。	
学習と成長の 視点	<p>職員の意欲と能力の向上</p> <p>風通しの良い職場づくり</p>	プライマリ・ケアを担う人材の育成(地域医療を担う人材の教育)	研修医・医学生の受入体制の充実	初期研修医・医学生受入延べ人数	673人	600人	630人	・指導医による人材育成体制を強化し、研修医、医学生を積極的に受け入れる。	・初期研修医や医学生を積極的に受け入れることで、目標を達成することができた。	・多くの研修医等を育成できるよう指導医を確保し、実践的で魅力的な研修を行っていく必要がある。
		看護師等育成の支援	看護実習生等受入延べ人数	303人	330人	348人	・看護師等育成に取り組む機関等と連携し、院内実習等を通じ人材育成の支援を行う。	・看護や介護の実習生を積極的に受け入れることで、目標を達成することができた。	・実習生を積極的に受け入れ、実践的な研修を行うとともに、指導者の育成に取り組んでいく必要がある。	
		プライマリ・ケアセンターへの支援	プライマリ・ケア研修会開催件数	2件	3件	3件	・当院に設置された三重県プライマリ・ケアセンターと連携し、プライマリ・ケア研修会の開催を支援する。	・三重県プライマリ・ケアセンターの機能が十分に発揮されるよう、研修会の開催や人材育成の面から積極的に支援を行った。	・三重県プライマリ・ケアセンターの機能が十分に発揮されるよう、引き続き、積極的に支援を行う必要がある。	
学習と成長の 視点	<p>職員の意欲と能力の向上</p> <p>風通しの良い職場づくり</p>	プライマリ・ケアに関するエビデンスの創出(実践的かつ先進的な研究の実施)	家庭医療等に関する研究の実施	学会発表・論文発表件数	36件	30件	43件	・カンファレンス等を通じ職員の研究に取り組む意欲を醸成する。 ・研究を行うための職場環境を整える。	・職員の研究に対する意欲の醸成に努めるとともに、日本在宅医学会地域フォーラムを開催するなどにより学会発表等の件数が前年度より大幅に増加した。	・引き続き、研究に対する意欲の醸成に努めるとともに、研究に取り組むやすい職場環境を維持する必要がある。
		医療従事者の能力向上	学会、研修、カンファレンス等の参加率	100.0%	100.0%	100.0%	・学会、研修等に参加しやすい職場環境を整える。 ・多職種が参加するカンファレンス等を開催する。	・全職員が学会や研修会等に1度は参加することができた。	・引き続き、学会や研修会等に参加しやすい職場環境づくりに取り組んでいく必要がある。	
		危機管理対策の向上	危機管理研修等参加率	78.2%	90.0%	100.0%	・職員の医療安全研修、感染管理研修等への積極的な参加を促す。	・患者や家族の視点に立った医療を安全・安心に提供できるよう、危機管理に対する職員の意識や対応能力の向上に努めた。	・引き続き、危機管理に対する職員の意識や対応能力の向上を図っていく必要がある。	
学習と成長の 視点	<p>職員の意欲と能力の向上</p> <p>風通しの良い職場づくり</p>	業務改善の推進	夢プロジェクト開催回数	12回	12回	12回	・一志病院のビジョン達成のため、夢プロジェクトの活動を通じて、職員の意欲と能力を向上させ、様々な業務改善を積極的に推進する。	・夢プロジェクト内に設けられた各戦略グループの取組状況の報告、確認等を行いつつ、業務改善を積極的に行った。	・引き続き、夢プロジェクトの活動に参加しやすい職場環境づくりに取り組んでいく必要がある。	
		風通しの良い職場づくり	職員満足度の向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的な回答割合	59.2%	-	-	・ワークライフ・マネジメントを推進する。 ・職員のモチベーションの維持・向上に努める。		